

(定例)

(報告：田中正行)

山(山域・ルート)

奥武蔵・蔵山(1,033m) 新人歓迎・清掃山行

【日時】平成25年5月26日(日)

【メンバー】P&L 田中正行

深谷かをる、阿部鍼一、東川征夫

飯田春子、赤石航也、黒須富士子

池ヶ谷潔、N.M

(計 9名)

### 【行動記録】

大宮(6時33分)ーさわらびの湯

(8時10分)…バス停発(8時41分)

三名郷バス停(9時)…尾根上(10時

8分)…蔵山(11時45分ー12時18分)…藤棚山(12時43分)…大ヨケの

頭…金毘羅神社跡(14時33分)…さわらびの湯(15時30)＝(入浴)

さわらびの湯(17時8分)ー大宮駅(19時)

上り 2時間10分 下り 2時間37分 計 4時間47分

### 【装備・食料等】

【共同】ツエルト(4)、ごみ袋、小玉スイカ(3)

【個人】ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、新聞紙、ごみハサミ、ビニール袋

昼食、水、お風呂セット

### 【感想】

自家用車3台に分乗し、2時間弱で「さわらびの湯」第三駐車場に到着。

広場では、たくさんのテントが張られ、食べ物・衣類の販売、音楽のステージなどこれから始まるイベントの準備が進められ、この日の賑わいが予測された。

私達は、ここのバス停から国際興業のバスに乗り、終点名郷で下車した。

登山口までの林道は比較的ごみも見られたが、登山道に入るとごみを探すのに苦労するくらいであった。

山は新緑の季節で、花は藤の花が終わり、山つつじのオレンジ色が緑に映えて、風もすがすがしく感じられた。

3度の休憩の後に、山頂に到着。天気も曇りから晴れに変わっていた。



今回はN.Mさんの新人歓迎山行も兼ねていて、出席できなかった新人担当の箕島さんが用意してくれた小玉スイカが私たちののどを潤してくれた。

下りは、藤棚山（920.2m）、大ヨケの頭（771m）、金毘羅神社を經由してさわらびの湯に到着。ここで分別後のごみ袋4つを中心に証拠写真を撮り、さわらびの湯職員に引き渡し、この日の仕事を終えた。

【この日の成果品】燃えるごみ 1キロ、空き缶 1キロ、ガラス、瀬戸物のかけら 1キロ、プラスチック 500グラム

さわらびの湯は、イベントの影響もあり、大混雑だったが、下山後の温泉は山登りに欠かせないものである。

風呂から上がり、広間で休憩し、駐車場で山行を解散した。

ゴミを拾いながらの6時間半（休憩を含む）の行程はやや長かったように感じられたが、天候にも恵まれ、全員けがもなく、無事下山できたことが何よりの成果と思った。木の根に絡んだ錆びた年代物の空き缶を根気よく取り出すなど、山をきれいに保っていこうとする、岳稜会会員の心がけに感謝し、新人歓迎・清掃山行の報告と致します。 以上。